

きたnote. 市民ライターレポート



レポートの全文は北上市の都市ブランドサイト「きたかみリズム」をご覧ください。



この記事のライターは

森屋 房枝さん

市民歴3年目。文章を書くこと、北上市の自然が大好き。



市民ライターの森屋房枝です。農業体験のため西部開発農産さんへお邪魔しました。

会社説明の後、施設や農場などを見学し、ベビーリーフの収穫体験をしました。水やりドローンや自動田植え機などスマート農業を取り入れていて、とてもハイテクで驚きました。お昼には直営店の焼肉DININGまるぎゅうへ行き、午後からはベビーリーフ収穫体験。力加減が難しく、根っこからとれてしまうことが多かったです。

日本の食料自給率は低く、コロナが流行し輸入が止まることなど、その危険性を教えていただきました。お米をたくさん食べて、自給率アップに協力したいと思います。最近離農によって農地が宅地に変わっているようですが、生きていくためのおいしい食料を作ってくれていることに、本当に感謝です。西部開発農産の皆さま、貴重な経験をありがとうございました！



(上)案内してもらった牛舎のかわいい牛さんたち
(下)ベビーリーフを栽培しているハウス内。無農薬栽培されていて、モンシロチョウが天敵だそう。

こちら「きたかみE&Beエフエム」です



鬼剣舞と神楽をこよなく愛す。早くコロナが収束し、各地を訪れて思い切り笛を吹きたい！



いいあんべ
E&Beエフエム83.8MHz アプリ「FM++」でも聴取
(おでんせプラザぐるーぷ内) できます

☎ 0197-62-8833 ✉ e-be@fm888.jp



ホームページ



Facebook



twitter

いまだ真空管のアナログ人間、「いも爺」と及川正男です。

以前担当していた、世代を超

えたとんちんかんな会話の番組も好評でしたが、今は「いも爺のまんず聴いてけろ〜」で頑張っています。時代についていけないいも爺が、方言丸出しでぐだぐだ「ぐやめぐ(ぶつぶつ言う)」超ローカルな番組です。「市民全員が一度はラジオで声を出そう」とコミュニティFMならではの夢を抱き、今は元気なご長寿さんの声を拾いに市内を駆け回っています。

また、児童の交通安全見守り活動や防犯活動、地域づくりにも参加し、市内を巡りながら眠っている宝探しに奔走しています。自称「マグロ年生まれ」の二子さとも応援隊。民俗芸能が大好きな祭り男で、鬼剣舞と神楽の二刀流で修行中です。

次は、オメエの家さ行くがらなッスー！！

パーソナリティ紹介

及川 正男さん

「いも爺のまんず聴いてけろ〜」(火曜9時~10時)を担当。方言など市内の宝物をいつまでも語り継ぎます。



まちの話題

市内の話題を紹介

高校生が認知症への理解を深める

VR認知症体験会

VR（バーチャルリアリティ）認知症体験会は、専修大学北上高校で行われました。

岩手県社会福祉士会中部ブロックなどが主催し、同校の生徒46人が参加。VRゴーグルを装着し、車から降りる段差がビルの屋上のような高さを感じる「視空間失認」など、認知症の症状を疑似体験しました。

大場隆也さん（2年）は「今後は当事者の気持ちに共感して声掛けができれば」と理解を深めていました。



9/28



怖い俳句で「鬼の国」を盛り上げる

きたかみ鬼の国俳句フェスティバル

きたかみ鬼の国俳句フェスティバルは、日本現代詩歌文学館を会場に無観客で開催されました。当日はYouTubeで生配信され、最大220人が同時視聴しました。

俳人の夏井いつきさんと神野紗希さん、作家の宮部みゆきさんが怖い俳句の詠み方について意見を展開。夏井さんは「俳句は助詞が一つ違うだけで伝わり方が変わるので本当に面白い」と語りました。

この内容は同館のYouTube公式チャンネルで公開されています。

10/10

非行防止に尽力して35年 少年補導功労者表彰

北上地区少年警察ボランティア協会の藤井恵光会長（75歳・村崎野）は、警察庁と全国少年警察ボランティア協会による少年補導功労者表彰で、市内で初めて最高位の荣誉金章に輝き、北上署で表彰状の伝達を受けました。

藤井会長は「最高位を受章し、本当に嬉しい。今後も子どもたちの健全な育成に協力していきたい」と力を込めました。



10/4

秋の味覚を掘り起こし

二子さといも収穫体験

市農業委員会主催の二子さといも収穫体験は、二子町のサトイモ畑で行われました。

5月の種芋植え付けに続いて実施され、市内小学生と保護者8組22人が参加。子どもたちは背丈より伸びた茎を刈り取り、スコップで一生懸命掘り起こしました。猪俣快晟君（飯豊小4年）は「たくさん採れてびっくり。芋の子汁にして食べたい」と喜んでいました。



10/3

ゴンドラで紅葉を満喫

夏油高原紅葉まつり

夏油高原紅葉まつりは、夏油高原スキー場で開催されました。

約3,800人が来場し、色づいた山景色や秋の味覚を満喫。ゴンドラ遊覧の終着駅に設けられた山頂カフェでは、乗客がコーヒーや芋の子汁で暖をとっていました。ゴンドラに乗った小田島葵君（江釣子小1年）は「おうちは見えなかったけれど、いい眺めでまた乗りたくなった」と話しました。



10/9・10